

“公共施設に関する”インターネットモニター調査

集計結果

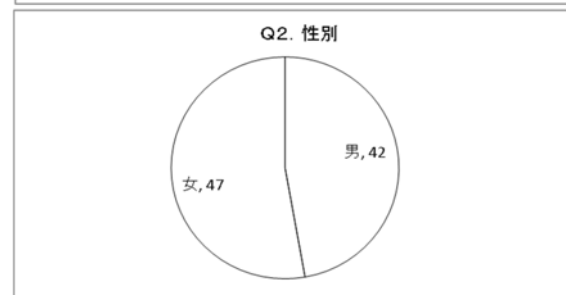
○実施期間：平成26年5月20日～30日
○回答者数：89人/100人中

お問合せ先

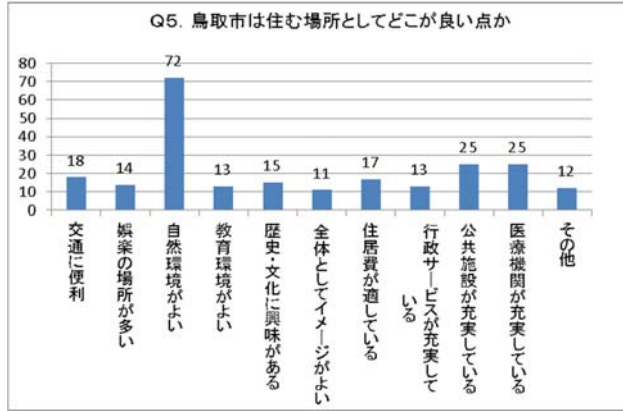
鳥取市総務部総務調整監財産経営課
電話：0857-20-3852
FAX：0857-20-3879
メール：zaisankanri@city.tottori.lg.jp

※本調査は、「鳥取市インターネットモニター設置要綱」に基づき実施したものです。
※本結果は、原文のまま集計しています。

《回答者の属性》



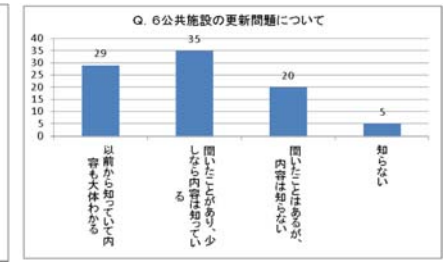
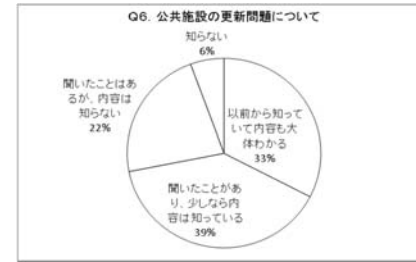
Q5. 鳥取市は住む場所としてどのような点が良いと思いますか



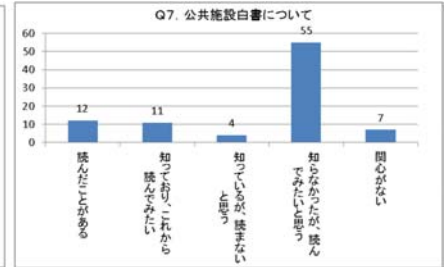
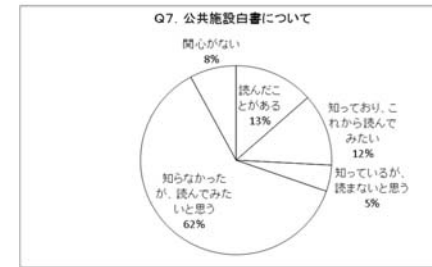
《その他意見》

- 穏やかに暮らしておられる方が多く、「譲り合い」が生活の中に浸透し、安心・安全に生活できる。
- 美味しいものがたくさんある
- 生来同じ土地に居住しているが、良いと思って住んでいるのではなく土地、家屋を持って行けなから居るだけで、仕事と住む場所があれば他の魅力的な場所を選択していると思う。
- 無理やり良いところを探させて、本心とは少しばかりニュアンスが違うけれど、これかなあと選ばせるような設問ではなく、「鳥取市は何もなく不便だけれど、それでも住んでみるといいなあと気付くところはどんなところですか？」というような質問でないとQ5の問いのようなポジティブシンキングな設問では答えにくく、ただ単に財産経営課が仕事としての統計を取るだけのために聞いてみましただけにしかないのでは？
- 都会過ぎず、田舎過ぎず、住むのには丁度良い。住宅地は静かだが、買い物等での商店へのアクセスは近い。
- 人が優しく、人口が少ない分、顔見知りが多くて安心できる。
- 食品がおいしい(特に魚)
- 公園がきれい
- 人が少ないことはメリットだと思う。都会では市や県の長と対話をするなんて一大事だが、鳥取はレスポンスが早いので、行政をととても身近に感じられる。
- 食べ物おいしい。(特に魚介類が新鮮でおいしい。)
- 散歩コースが充実・川土手の整備が良い
- 比較的治安がよい。ただただ田舎なのがいい。
- 海産物、農産物が新鮮、豊富、おいしい。

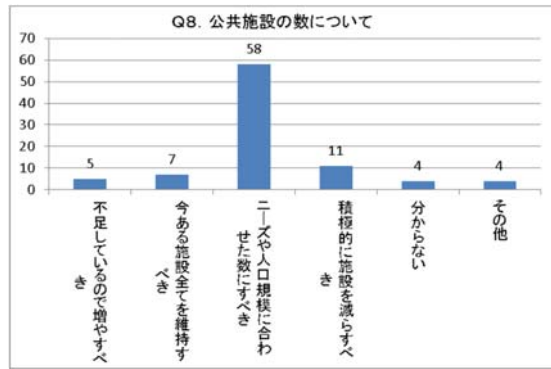
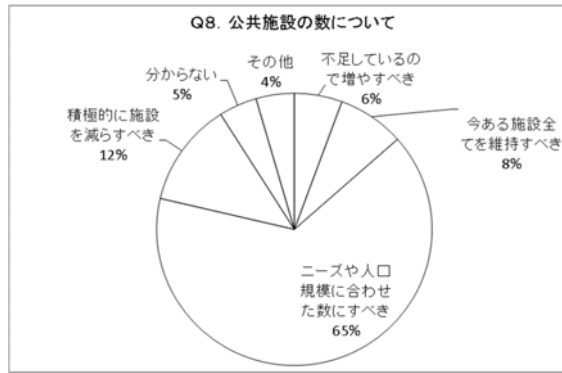
Q6. 高度経済成長期に建設した公共施設が老朽化しており、今後、多額の建替え(更新)費用が必要となる時期を迎えます。この『公共施設の更新(老朽化)問題』を知っていましたか。



Q7. 鳥取市では、公共施設の今後のあり方を考えていくため、各施設の現状や課題をまとめた「鳥取市公共施設白書」を平成26年2月に公表しました。この「鳥取市公共施設白書」を読んだことがありますか



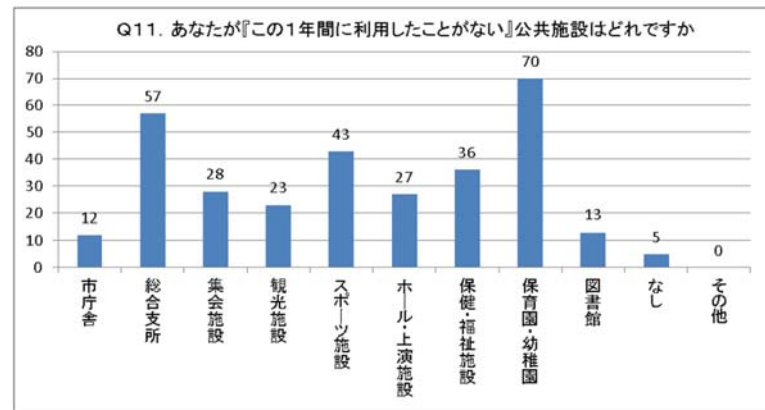
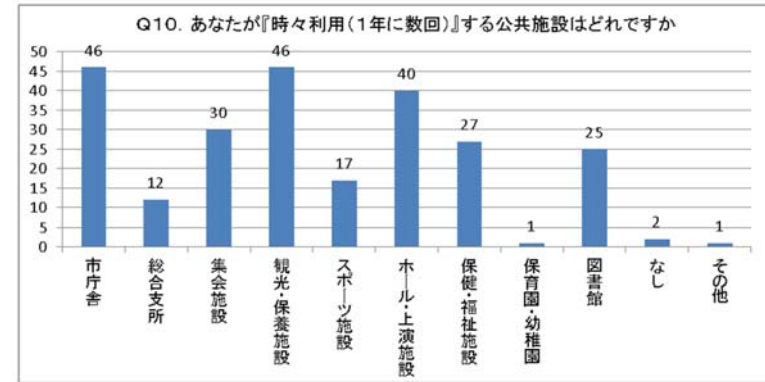
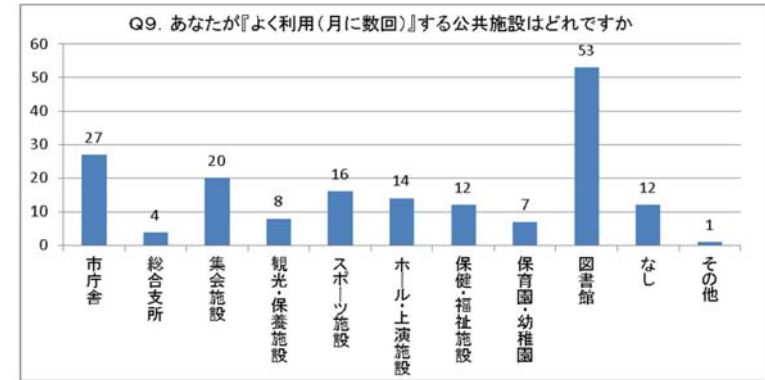
Q8. 公共施設の数をどう感じていますか。

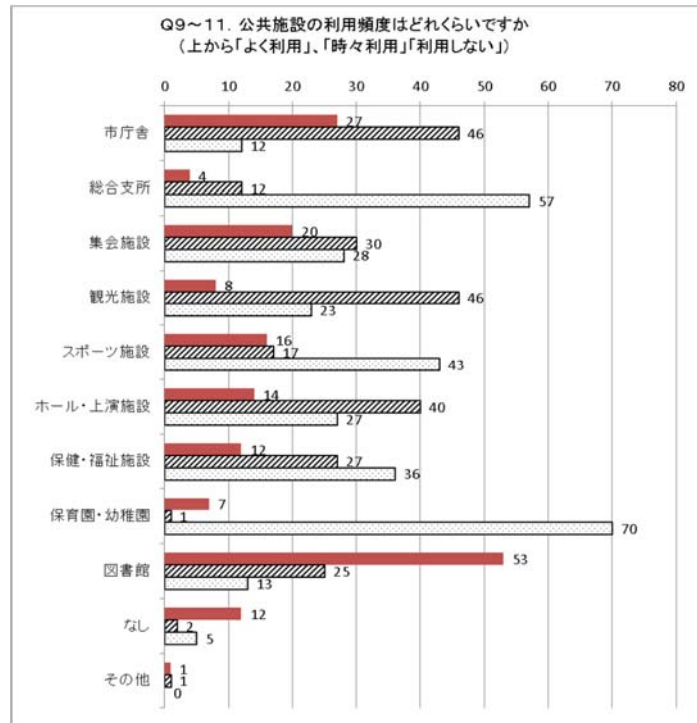


《その他意見》

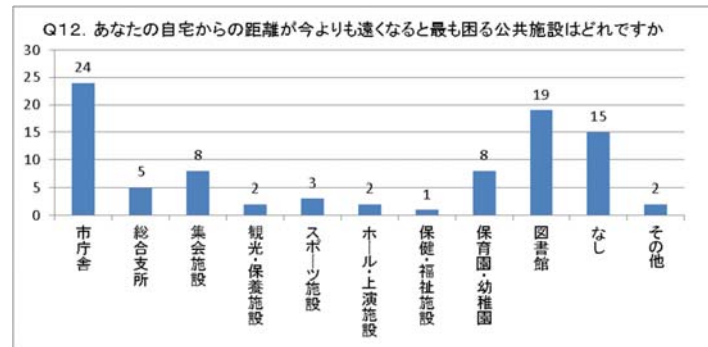
- 数の云々ではなく、公共施設にかかるトータルコスト(施設管理費+運営管理費)が一体いくらかかっているのかを正確に把握し、収支試算に基づいた維持管理計画・税金に見合った水準に行政コストを抑えるという財政規律が不可欠だと考える。身の丈に合った施設数でなくてはならない。
- 基本的にはニーズや人口規模に合わせればよいと思うが、単純に人口規模に合わせないでほしい。あったものがなくなるというのは、そこで暮らす人たちにとってはさびしいもの。そこに人がくるような流れをつくる必要があるのでは。
- 小規模な学校は、統合して良いと思います。
- これからの人口動態や高齢化地域の住民の年齢等に応じた、柔軟な対応が必要。

Q9～11. 公共施設の利用頻度について





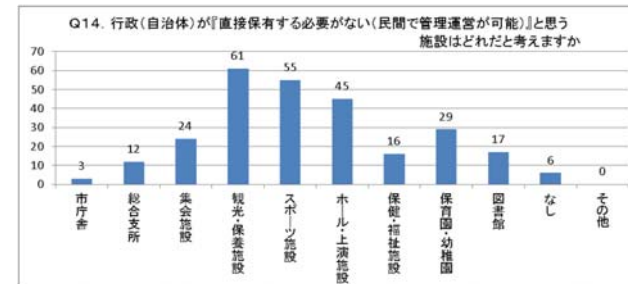
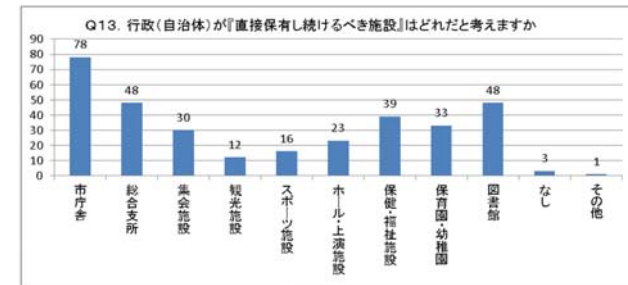
Q12. あなたのご自宅からの距離が今よりも遠くなると最も困る公共施設(公共サービス)はどれですか。



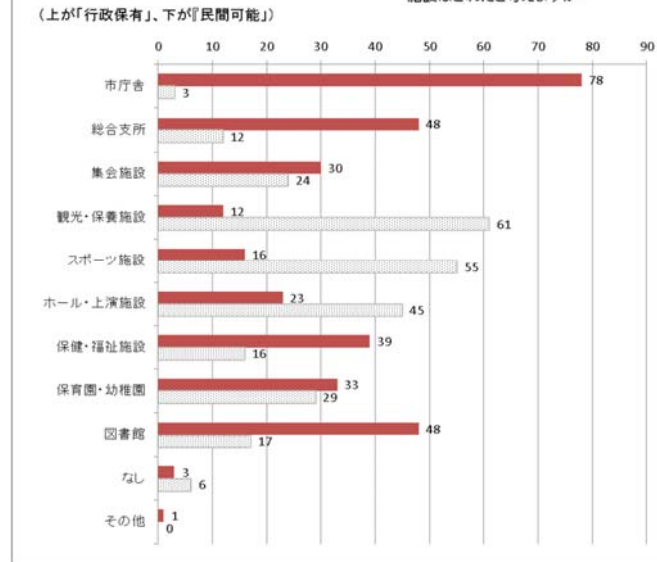
《その他意見》

○ 民間委託先で利益が出せる水準がキープできるならば、直接保有は不要だと考えます。

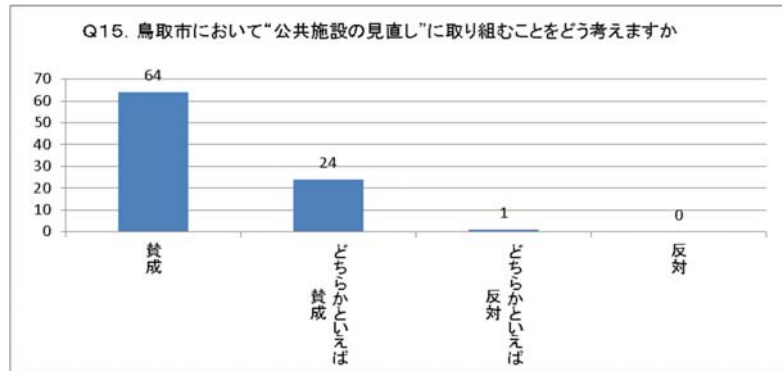
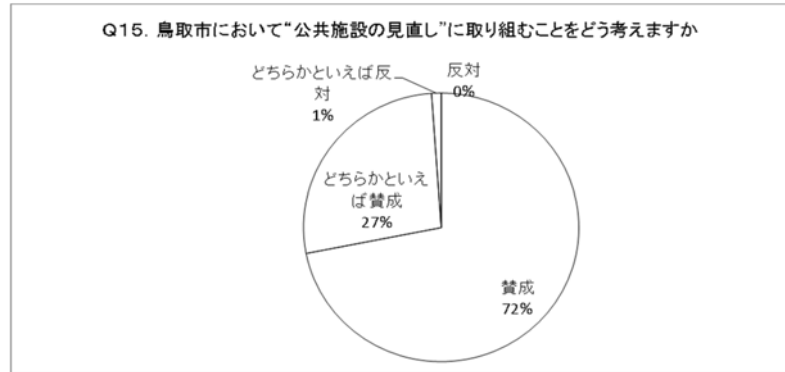
Q13～14. 行政(自治体)が『直接保有し続けるべき施設』、行政(自治体)が『直接保有する必要がない(民間で管理運営が可能)』は、それぞれどれだと考えますか



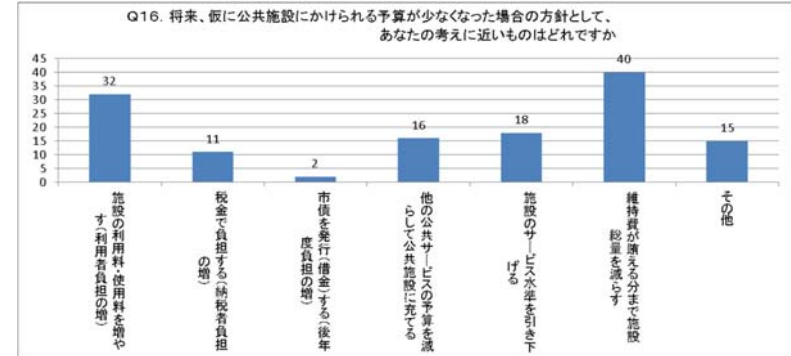
Q13. 14. 行政(自治体)が『直接保有する必要がない(民間で管理運営が可能)』と思う施設はどれだと考えますか



Q15. 鳥取市において“公共施設の見直し”に取り組むことをどう考えますか



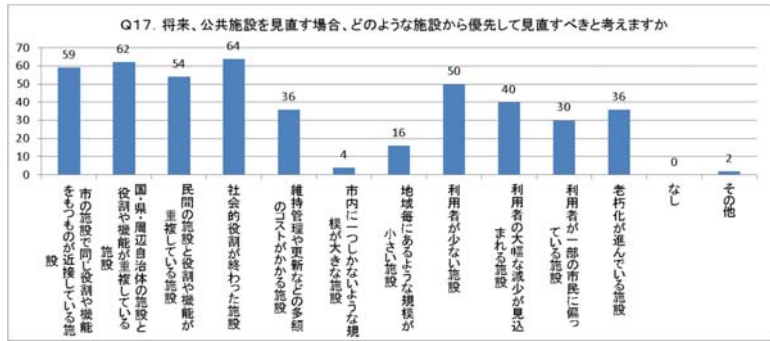
Q16. 将来、仮に公共施設にかけられる予算が少なくなった場合の方針として、あなたの考えに近いものはどれですか。



《その他意見》

- 先ずは、公共施設維持費の無駄を省く。仕分け作業
- 選択肢にあるような複数の要素をバランスよく活用するほかないと思います。一つの要素だけで補っていくことは新たな問題を生むだけであり解決できないと考えます。
- 民間企業との連携
- 職員数大幅減
- 利用の多い施設と少ない施設を5段階程度に分けて考える。利用の多い施設は、使用料を増やしても良いと思います。それ以外は、利用が多くなるように、工夫努力をしてそれでも利用者が増えないようなら、閉鎖も含めて検討する。
- 命名権・スポンサー料の利用
- 民間が参入し利益が出る方法で維持管理
- 民営化、民間委託、民間施設借り上げ補助などで公共資産の切り売りを進める。
- 不要な施設から順番に手放す。というより、そうなる前に手放す。
- 人口やニーズに合わせて、適正な施設数と規模を見直した上で、将来の負担を軽減できるように今から対処していくことが必要。
- 市議・職員の人件費削減
- まず市の職員を減らすか給料を大幅にカットする。その後税金を増やしてもいいかななどを市民に問う。どの施設があるか知らないかをアンケートで市民に聞いてもいい。その結果少なければその施設もそもそも予算が少なくなる流れにあるのであれば、現時点から民間委託。ハード面の削減、ソフトの柔軟化を目指すべき。
- 不要の公共施設の見直しにより捻出した予算を必要な公共施設の予算に充てる。

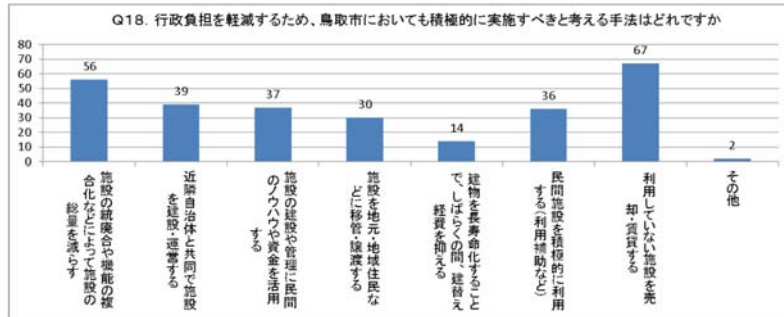
Q17. 将来、公共施設を見直す場合、どのような施設から優先して見直すべきと考えますか



《その他意見》

- 縦割り行政で重複しているものを機能、特に安心・安全の視点から集約して利用できるように考えてはいかげんでしょうか。

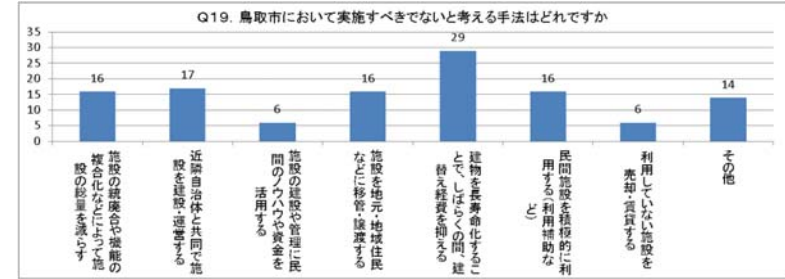
Q18. 行政負担を軽減するため、鳥取市においても積極的に実施すべきと考えられる手法はどれですか



《その他意見》

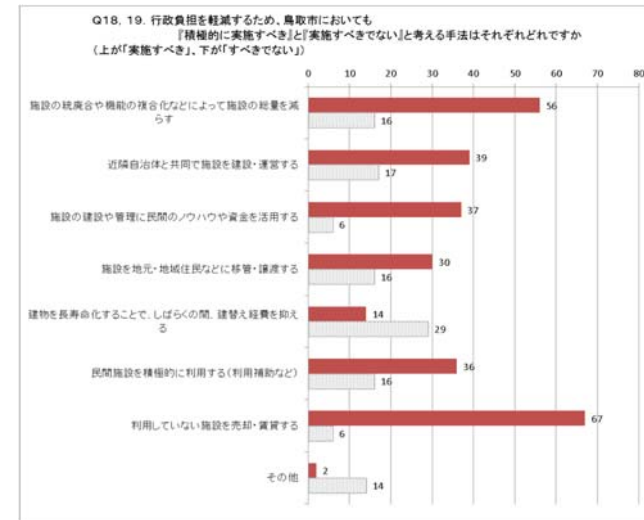
- ハコモノにかかる将来コストを予測し、歳入見通しのもとに行政コストを捉え直す。また、正確なコスト情報を市民に公開し、行政サービスが削減されることに対する理解を求める。
- 老朽化した建物を新しい機能を備えた建物にリノベーションしていく。鳥取らしい街並みを残していく。

Q19. 鳥取市において実施すべきでないと考えられる手法はどれですか

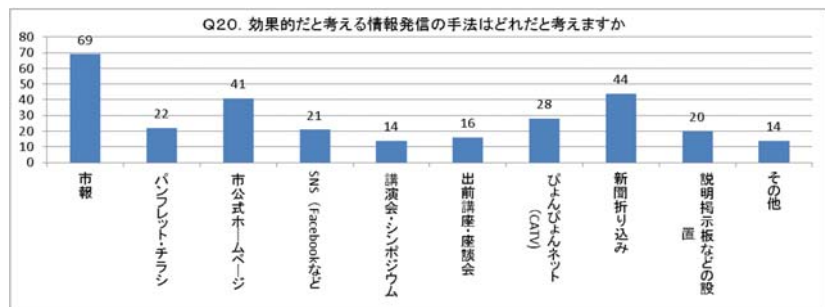


《その他意見》

- 可能なことは、枠にとらわれずに色々と考えていくべきだと思うため、「実施すべきでない」という選択肢がない。
- どれもすべきではないとまでは思わない。
- 実施すべきでないものは上記にない。
- 国からの補助金、地方債、地方交付税に頼るだけの無計画とも思える行政運営はやめる。今後、「どう行政組織をスリム化するのか」・「ハコモノをどう有効活用するのか」・「膨大な負債をどう圧縮するのか」について前向きに捉まえ、より具体的に、実効性ある対応策の戦略を練ることが重要だと考える。
- すべきでないとは言いきれないが、鳥取市という土地の特性を考慮して考えるべき。近隣自治体と協力しようとする方が距離や手段等様々な面で負担が大きくなってしまふのであれば他の方法をとあてはまるものがない
- 特になし
- 無し
- 施設の統廃合などは良いと思うが、それにより移動手段のない住民や利用待ちが増加するのは避けてほしい
- なし
- すべて実施。施設によって異なるため施設ごとに検討が必要
- 課題問題の先送り。
- 施設の必要以上の規模での建て替え



Q20. 効果的だと考える情報発信の手法はどれだと考えますか



《その他意見》

- テレビコマーシャル枠でのお知らせ
- 特別なことをする必要はない。(費用もかかる)自治会とか、まちづくり協議会といった、今ある組織を有効活用して情報発信していくとよい。
- 市関係者(市長)と住民との対話集会
- 市報はHPは興味のある人しか見ない。一人でも多くの人にと考えるのであればテレビCMや地元ニュースで取り上げてもらう等の広い範囲への発信が必要。集客イベントに便乗するよりも、市自ら公共施設問題をテーマに開催(講演会等ではなく、若者、子供も行きたくないような内容)した方が注目される。各公共施設で開催するのも、実際の建物に触れる機会にもなり、知ってもらう機会になると思う。
- 高齢者は紙媒体、若者はSNSなどと情報を取得する手段がさまざまになっている。いろんな人に周知を図るのはかなり難しいが、将来を担う若者たちにぜひ考えてほしい。あらゆる手段を使っての広報や、小、中、高校の社会や総合学習の授業に公共施設の在り方、財政負担などのことも取り入れてもらうとか、役所ではない民間の事業所などに勤める若者たちに知ってもらうため積極的に事業所にアピールしていくのはどうだろうか？
- Twitter
- 市の取り組みに無関心な方にも目に入らざるを得ない場所に広報をするべき。
- 市報や鳥取市のホームページ、Facebookは、関心のある方が自発的に見るだけなので広く市民には伝わらない。
- 施設の種類によって問題の広がりが見えませんが、よく見えません。
- 成功例・失敗例の情報提供が必要です。
- 嫌われないで労働組合、共産党系の人たちから、反対のための反対論でなく、本件を成功させるための建設的意見を講演会で述べさせ論点整理するべきです。
- どの選択も一長一短があるので、すべての媒体で情報発信を行うべき。
- 個人サイトへのリンク依頼。
- 読みやすく内容がわかりやすいチラシやHPの作成をして情報発信をする。また、地域で活動しているまちづくりや市民団体の方などを中心に、地域毎の意見交換会を開催する。ポイント説明をしたミニ動画を作成して放送する。
- テレビCMやヤフーなどの検索サイトのバナー広告に載せる。
- 回覧板。地域の自治体へ地元住民への周知できるよう案内等依頼。それと「公共施設の更新問題」という固いタイトルを、市民が参加しやすくなるようなものへ変える。

自由意見

- 公でなければならない物も多くあります。
- ご苦労さまです。インターネットアンケートモニターの為の研修会、講演会などがありましたら、企画などよろしく願います。
- 施設の総量を減らさないと、維持管理費が増大するばかりである。地域住民や利用者から施設廃止の反対運動が必ず起こるであろうが、地域面積当たりとか利用者数など基準を定めて廃止していくべきである。
- 後でグラフ作成等の統計のためだと思うが、各設問の回答の選択肢が少ない。この中から選べるとなるとこの中からだとしても、これかなあ？ ちょっと違う気もするけれど、でもこの選択肢の中ではこれかなあとなってしまうので、設問にご配慮いただければ、御職には大変ですが、市民としては答えやすいかと存じます。
- 公共施設の維持管理については、道路・橋などともに今後膨大な予算が必要となります。
- 現状あるものをすべて維持するのではなく、選択したうえで、将来の財政が維持できる箱物を残すべき時期であると思います。
- 施設事の維持費・使用率を公表して、市民の検討の参考資料にするべきだと思います。
- 公共施設の必要性を考え、不必要な施設は廃止すればと考えます。県立博物館の常設展示などは必要とは思えません。県庁所在地である鳥取市内に興味をそそる施設を作っていたきたいです。ある観光客に話を聞くと、浦富海岸と砂丘を見たら、米子、境港に移動するとの事。市内が寂れて行く一方です。
- 公共施設について望むのは、やっぱり自治体が責任をもって建設、管理、運営をしてほしいと思います。財政的に無理だと分かっているでもです。
- わが子がソフトテニスをするようになって初めて、千代コートは傷みの激しさを知りました。たまたまわが子がかかわって初めて知ったことなのですが、こういう施設はたくさんあると思います。知れば直してほしいと願うのが親心です。気高町の龍見台コートはオムコートで千代コートよりもすばらしいです。ここのコートの数を増やせば、公式戦の対応も可能ではないかと思ひます。国道9号にも近く、使う側にも便利だと思います。人口が多いところに施設も大会も集中するのではなく、旧町村にも人が流れるようなしくみをつくってほしいです。
- Q12は質問の主旨がミエミエで疑問がある。行政が建築したものであるの責任をもって早く対応してください。アンケート結果によらず既の方針があるはず。決断力。
- ありとあらゆるものが「縮小社会」となった今、「小さな社会」「成熟社会」に見合った価値観、作法が必要である。
- 集計作業等、ご苦労さまです。今後も早めの連絡、よろしく願います。
- 後世への負担増は絶対防ぎたいです。
- 公共施設は何かが必要で何が不必要かを決める事が大変難しい問題です。人が使っていないから不必要？使っているから必要？議論すればするほど市庁舎のように建てる建てない議論で多額の費用が建ててもいないのに掛ってきます。誰かが決めなくてはなりません。
- 仁風閣等の公共施設は、臨職、ボランティア等を活用 するなどして年中無休にしてほしい。
- 高齢者の入場料の無料化、減額化は、今後も進めてほしい。
- 総合支所の空き部屋を有効活用してほしい。資料展示 場、無料ギャラリー貸出し、無料集会所な